

# 運用・証券・投資銀行業務WG

時期	内容
9/29	第1回WG
12月	第2回WG
3月	第3回(意見交換会)

## 【活動方針】

- ESG投資に関連する署名機関の実践に向けた対応促進。なお、気候変動関連を中心にポジティブ／ネガティブインパクト(例:労働者の人権問題等)を考慮しつつ、より広い視点で課題解決に向けた取り組みを進める。
- 年度を通じたテーマは2019年度と同様「ESG金融大国となるためのとるべき戦略」のアクションプランの実効性の向上。3回程度の開催を想定。

## <第1回WG>

オンラインセミナー「[コロナ後の脱炭素社会づくりにおける投資家と企業の役割](#)」

## <第2回WG>

「ステークホルダーダイアログとあるべき資本市場像」をテーマに、有識者、NGO、投資家が登壇し、資本市場に期待する姿についてステークホルダーダイアログ方式で議論する。

### • 登壇者候補(敬称略)

有識者:水口 剛／高崎経済大学副学長 同大学経済学部教授(環境省ESG金融ハイレベルパネル  
ポジティブインパクトファイナンスTF座長)

NGO:(社会・人権)伊藤 和子／国際人権NGOヒューマンライツ・ナウ 理事長  
(環境)WWFまたは飯沼 佐代子／地球・人間環境フォーラム

投資家:未定

## <第3回WG:総会の意見交換会>

- 例年のように「直接金融」分野にて総会と同日に行う「意見交換会」開催を想定。これまで「間接金融」分野で意見交換会の中心となってきた預金・貸出・リース業務WGと調整、直接・間接金融を統合しての開催もあり得る。テーマ候補としてインパクトマネジメントを提案。

# 保険業務WG

時期	内容
9/18	第1回WG 禍を踏まえた 今後のESG取組の強化
12月頃	第2回WG 気候関連の情報開示が保険 会社に及ぼす影響

## 【活動方針】

- 2020年度も引き続き「気候変動」はテーマとして継続し、開催地も国内保険会社の本社並びに海外保険会社の支社が集中する東京に絞り、情報の広い発信よりも、深い情報提供と密な情報交換に重きをおいて開催したい。

## <第1回WG>

### オンラインセミナー

### 「コロナ禍を踏まえた今後のESG取組の強化」

## <第2回WG>

- TCFDには世界全体で金融機関をはじめとする1,073の企業・機関が賛同し、日本でも損害保険協会、生命保険協会、複数の保険会社を含む248の企業・機関が賛同している。今後、保険会社自体の情報開示、また投資先、保険引受先の情報開示が進む中で、それらが保険業界にどのような影響を及ぼすのかを学ぶ。

# 預金・貸出・リース業務WG

時期	内容
8/9	第1回WG 北海道開催
11月～	第2回WG～ 中国地方・四国地方・東北地方

## 【活動方針】

- ① 環境省が「地域におけるESG金融促進事業」(2019年度)において実施した支援、支援結果から取りまとめた「ESG地域金融実践ガイド」(署名機関とも共有)の周知
- ② 環境省が提案する地域循環共生圏を学び、実現に向けた地域金融機関のあり方を議論する
- ③ 当初想定していたTCFDについては、独立したテーマではなく、上記の活動の中で取り扱う予定。

## <第1回WG>

- [ESG金融/SDGsビジネスセミナー](#)  
～アフターコロナの社会における持続可能な地域の創出に向けて～(北海道開催)
- 第2回以降は、北海道で開催した「ESG金融/SDGsビジネスセミナー」と同様の内容で、中国地方、四国地方、東北地方で開催する方向で検討中
- 総会・意見交換会では、運用・証券・投資銀行業務WGと共催も検討したい

※上記は持続可能な地域支援WGと共催

※地域循環共生圏シリーズについては、持続可能な地域WGを参照

# 環境不動産WG

時期	内容
8/26	<p><b>第1回WG</b> 地域における金融機関とまちづくりの接点 (ローカルの視点)</p>
12月上旬	<p><b>第2回WG</b> インパクト評価手法の解説とローカルにおける適用可能性 (グローバル&amp;ローカルの視点)</p>
2-3月頃	<p><b>第3回WG</b> 地域における金融機関とまちづくりの接点 vol.2: ポジティブ・インパクトの創出 (ローカルとグローバルの融合)</p>

## 【活動方針】

- 年3回のWGを行い、第1回は19年度第3回WGの続編ともなる「ローカルな視点」、第2回はUNEP FIなどの手法とそのローカルへの適用を考える「グローバル&ローカルの視点」、そして第3回は第1回と2回での学びを発展させ「ローカルとグローバルの融合」を目指し、日本の地域においてポジティブ・インパクトを活性化させる方法を模索する。

## <第1回WG>

「地域における金融機関のあり方を考える」オンラインセミナー <ローカルの視点>

「地域における金融機関とまちづくりの接点」

## <第2回WG>

- 国際的イニシアティブが出しているインパクト評価手法と事例の紹介後に、これらを国内ローカル事例への適用可能性についてディスカッションを行う。

# 環境不動産WG

## <第3回WG>

「地域における金融機関とまちづくりの接点 vol.2: ポジティブ・インパクトの創出」(ローカルとグローバルの融合)

- WG第1回、第2回の学びを発展させ、地域においてインパクトを創出するビジネスと金融機関にどのような可能性が実際にあるのか、事例(計画)と事業計画の可能性について、国際的イニシアティブなどによるインパクト評価の考え方も踏まえてディスカッションする。

## <プログラムおよび講演者(案)> (敬称略)

### ・ディスカッション

パネリスト 服部 守親 / (一社)第二地方銀行協会 常務理事  
内山 博文 / u.company inc.(U&CO.)代表取締役  
地域金融機関、およびUNEP FI、PRI署名機関等(詳細未定)

モデレーター 似内 志朗 / (株)ヴォンエルフ  
堀江 隆一 / CSRデザイン環境投資顧問(株) 代表取締役社長

# 持続可能な地域支援WG

時期	内容
8/27	第1回WG 地域循環共生圏①
10/15	第2回WG 地域循環共生圏②
12月ごろ	第3回WG 地域循環共生圏③
1月ごろ	第4回WG 地域循環共生圏④

## 【活動方針】

- 環境省による地域循環共生圏の実現こそ本WGの目指すものと認識、共生圏実現に向けた、地域金融機関の役割や取組について、様々なテーマ(切り口)ごとに、議論を行っていく。

### <第1回WG>

「地域における金融機関のあり方を考える」オンラインセミナー<金融ソリューションのラインアップ>

「[地域循環共生圏とは何か](#)」

### <第2回WG>

「地域における金融機関のあり方を考える」オンラインセミナー<金融ソリューションのラインアップ>

「[地域経済循環分析を実務に繋げよう!](#)」

### <第3回WG～(最大5回)>

第2回の議論を踏まえ検討する。地域金融機関が自治体と連携し地域循環共生圏の主体的な担い手となるための実践的な議論の場とする。

※上記はすべて預貸WGと共同開催

※ESG金融/SDGsビジネスセミナーシリーズについては、預貸WGを参照